



千里もぐら新聞

創刊号
2024年
1月

調査員
井藤里香 齋木健司
うー 辰巳雄基
大西達也 中川なつみ
内田好美 仲平都代
kazumi 中村幸子
空閑綾香 西野侑子
空閑悠姫 山城大督
楠田恭子 山中康子
楠田雅紀



題字
長谷若菜
テンプレートデザイン
仲村健太郎
街のイラスト
中川なつみ
似顔絵
表：楠田恭子
裏：うー
版面
内田好美
漫画
大西達也
発行

豊中市立文化芸術センター

約60年前に大阪に誕生した日本初の大規模ニュータウン。
当時まちづくりの実験の場であった千里をフィールドに、新しい共同体におこった出来事にであります。

千里ニュータウン Senri New Town

大阪の北部、吹田市・豊中市にまたがる千里丘陵を開発し造成された日本初の大規模なニュータウン。12の住区に分かれ、各住区ごとに小学校、近隣センター、公園、医療施設などが計画的に配置されている。当時世界でも例をみない大規模な街づくりだったため、国内外の関心が集められ、街がつくられた。

日本では第二次世界大戦で多くの家屋が失われ、戦前は海外の植民地に出ていた人口も国内に戻ってきた。それに加え、1955年頃に始まった急激な経済成長、工業化とともに大量の人口が職を求めて都市へ集中するようになり、人々は大変困っていた。そこで大阪府は、良好な住環境を備えた大量の住宅を供給するためにあわさ10年足らずの期間に人口10万人・住戸数3万戸の住宅都市を建設。さまざまな人が調和したコミュニティを形成するよう、戸建住宅、集合住宅、社宅などあらゆる種類の住宅が用意され、より多くの住民が短時間で主要施設にアクセスできるように工夫された。

この地に友達とよく釣りに行っていました

世界で一番目に自動改札ができました

夕からきたゾウ
大行進があったんです

なぜ？
この辺りはニュータウンじゃないの
昭和10年から大阪市の施設
があったから

なぜ？
この辺りはニュータウンじゃないの
江戸時代からの古い村があり
家や住まいがあったから

当時新「野矢がいた」の？
背丈高は木刀を構えて行っていました

千里南公園の工場で
ちよとに建設現場があったんです

団地の隣りに勝手に
庭か火の池とか作っていました

初詣にはこの神社に
行っていました

あまりに泥濘がひどいので
途中小学校の敷地にもテニスコートを造りました

4

ここにきて初めて購入したのは
スーパーに行くための買い物バックでした



←至 大阪空港

至 門真市

PLAY BACK! ① 千里年表

1960年

- 1962年 佐竹台入居開始（まちびらき）
- 1963年 高野台、津雲台入居開始
- 阪急・千里山～新千里山開通（現南千里）（ニュータウン初の鉄道）
- 1964年 古江台、藤白台入居開始

1965年

- 1965年 青山台入居開始
- 1966年 新千里北町、東町入居開始
- 1967年 阪急・南千里～北千里開通
- 桃山台、竹見台入居開始
- 1968年 新千里西町、南町入居開始
- 1969年 人口10万人突破

1970年

- 1970年 日本万国博覧会
- 北大阪急行、新御堂筋、大阪中央環状線など開通
- 1971年 万博記念公園オープン
- 1972年 セルシーオープン
- エキスポランド開園
- 1973年 阪急山田駅開設
- 1975年 人口13万人（ピーク）

2020年

2023年 一時人口減るが再び10万人を越す

次号につづく...

14 団地：竹見台団地スターハウス

私と千里ニュータウンの出逢いは、2年ほど前ウォーキングの途中に桃山台住宅の中を通り抜けた時でした。それまでは団地に馴染みがなかったのですが、団地の中は広くて色々な所に入り口があり、東西南北どの方向にも出入り出来るのには驚きました。団地内、公園の植物も素敵で、遊具も可愛くて、とにかく街づくりに感動しました。地図を片手にニュータウン内の団地や公園は、ほとんど全て歩いてみました。でもこの2年ほどで、古い街並みがどんどん無くなっているのが悲しく寂しい気持ちです。

調査員：山中さんからの一言



今号テーマ
驚女
おどろき
surprise

大規模なニュータウンが完成し、いろんなところの当時の倍率はすごかったようです。計画的につくこどもたちの大冒険があったり、そんな「驚」の匂いのようなものをお届けできたらと思います。

この道やっつてんだと。人の街と村の生活。それはそれぞれの個性を知ったのは楽しかったですね。



1960年2才の時
大阪市から高野台へ
曾谷さんから聞いた話

2023.10.15

[illegible]

2023.11.16

フォーム



千里周辺に住んでいてこんなことがあったよ！というような世間話、こんな人を知っているよ！という情報、調査してほしいこと、新聞の感想など、いつでも募集しております。どんな些細なことでもOK。調査団も随時募集中です。 気になった方はフォームのメッセージよりご連絡ください！

千里もぐら新聞とは・・・千里考今物語の調査団メンバーでつくる2ヶ月に1度発行する新聞(「プログラム詳細」からPDFでデータもご覧いただけます。また全国のコンビニでも印刷可能。詳細は「プログラム詳細」より)

1966年9才の時
大阪市から北町へ